

012

フランス菓子店が作った、誰でも安心して食べられる「美味しい防災スイーツ」

取組主体

株式会社ガトー・ド・ボワイヤージュ

従業員数

237 人

想定災害

全般

実施地域

神奈川県

- 誰でも安心して食べられる備蓄用の美味しいお菓子として、アレルギーフリーやビーガン仕様の商品を含む、5 年間保存可能な防災スイーツを開発、販売している。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

5 年間保存可能で、誰でも安心して食べられる「美味しい防災スイーツ」を開発、販売

- 洋菓子製造、飲食店経営をしている株式会社ガトー・ド・ボワイヤージュが、備蓄用の美味しいお菓子として、防災スイーツを開発、販売している。
- 「必要とされる企業になれ」という同社理念のもと、平成 30 年よりバニラ味とチョコ味の 2 種類の「防災スイーツ」の開発に着手した。1 年間の食品虐待試験（温度等の負荷をかけ、食品の保存期限を調べる試験）を経て、令和元年 9 月 1 日に完成に至り、横浜市に 1,000 袋を寄贈した。
- その後、同年の東日本台風で大きな被害を受けた千葉県館山市にも 600 袋を寄贈したが、避難所でアレルギーを持った子どもが配給された防災スイーツを食べられなかったことを聞き、アレルギーフリーの防災スイーツの商品開発に取り組んだ。
- 令和 2 年 12 月、新たにメープル味の「28 アレルギーフリーの防災スイーツ」の開発に成功し、横浜市へ 1,000 袋、内閣府へ 400 袋を寄贈した。アレルギーフリーに加え、ビーガン仕様でもあることで、菜食主義の人や宗教的に肉や動物性由来の油が食べられない人等、多様な文化的背景を持つ人に配慮している。
- また、ケガの恐れのあるプルトップ缶ではなくチャック付きのプラ袋を使用することで、食べ終わった後には水の配給時の保管袋として代用できる。裏面には、災害時の伝言板ダイヤルへの掛け方を明記している。



アレルギーフリーの防災スイーツ

2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

- 防災の日等に限らず、消費者に 1 年中防災意識を持ってもらうため、直営売店では通年で防災スイーツを販売している。令和 2 年のお歳暮シーズンでは、大手デパートグループにて「防災スイーツギフト」を販売した。

3 現状の課題・今後の展開等

- 28 アレルギーフリーの防災スイーツはまだメープル味しかなく、令和 3 年 1 月にチョコレート味の開発が終わったところである。現在、5 年 6 か月の賞味期限の虐待テスト中であり、令和 4 年 1 月に検査結果が出た後、同年 5 月 5 日（こどもの日）をめぐり、子どもが喜ぶ「チョコレート味の 28 アレルギーフリーの防災スイーツ」を発売予定である。
- 令和 4 年には、避難所のように限られた空間である宇宙空間向けの「美味しい 28 アレルギーフリー宇宙食スイーツ」に挑戦予定である。「カルシウム不足」「排便量を減らす消化酵素」等の問題点の解消が課題である。

担当者の声

- 私たちは目先の利益だけでこのような事業を行っているわけではなく、「必要とされる企業になる」ということを目指しています。地域貢献、環境問題を考えた上で、誰もが分け隔てなく美味しく食べられるお菓子作りを目指せば、必ず後から少なからず利益は付いてくると確信しています。

問合せ先

株式会社ガトー・ド・ボワイヤージュ 法人番号：8020001112108
TEL：045-786-2632 FAX：045-786-4408 E-Mail：m-yoshida@gv-yokohama.co.jp

サイト URL

